

配布 CGI の設置方法

<http://www.toshinari.net/>

平成 22 年 5 月 26 日

1 はじめに

このマニュアルは設置方法を示したものであるが完全なものであるとは限らない。自分の環境にあわせて適宜変更を行うこと。このマニュアルは Linux サーバーを想定して書かれているが、Windows でも動作は可能である。

2 管理者パスワードの設定

admin.cgi をテキストエディタで開くと、管理者パスワードの設定を行う部分がある。そこをまず各自で決めたパスワードに変更する。

3 Perl の実行パスの設定

各サーバーの Perl の実行パスに応じて以下のファイルの 1 行目を書き換える必要がある。(不要な場合もある) 初期状態では、/usr/local/bin/perl が設定されているが、サーバーによっては/usr/bin/perl の場合も存在する。各自のサーバーの Perl の実行パスにあわせて適切な設定を行うこと。不明な場合は一度初期状態のまま試し、実行できない場合は/usr/bin/perl 等に変更して試すこと。

- admin.cgi
- bbs.cgi
- read.cgi (Perl 版の read.cgi を設置する場合)
- compile.cgi (C 言語版の read.cgi を設置する場合)
- search.cgi (検索機能を利用する場合)
- thread_search.cgi (検索機能を利用する場合)

4 ファイルの設置

ファイルの設置は以下の通りである．なお各スレッドの読み出しには read.cgi というプログラムを使用するが C 言語版と Perl 版の二つのバージョンが用意されている．C 言語版の方が動作は高速であるが，設置するサーバーでバイナリファイルの実行が許可されている必要があるので，よくわからない場合は Perl 版を設置することを推奨する．

- /test/
 - /admin/
 - * 各.pl ファイル
 - /dat/
 - * caplist.dat (注意: このファイルは外部から参照できないように注意すること)
 - admin.cgi
 - bbs.cgi
 - loadsetting.pl
 - makeindex.pl
 - read.cgi (Perl 版を使用する場合のみ)
 - read.c (C 言語版を使用する場合のみ)
 - compile.cgi (C 言語版を使用する場合のみ)
 - searchform.html (検索機能を利用する場合のみ)
 - search.cgi (検索機能を利用する場合のみ)
 - thread_search.cgi (検索機能を利用する場合のみ)

5 パーMISSIONの設定

5.1 実行権を与える必要があるファイル

以下のファイルに対しては外部から実行できる必要がある．そのため例えばパーMISSION 755 などを与える．ただし各自の環境にあわせて適宜変更を行うこと．

- admin.cgi
- bbs.cgi
- read.cgi (Perl 版を使用する場合)

- compile.cgi (C 言語版を使用する場合)
- search.cgi (検索機能を利用する場合のみ)
- thread_search.cgi (検索機能を利用する場合のみ)

5.2 caplist.dat

/test/dat/caplist.dat は外部から参照できないようなパーミッション設定にする必要がある。例えば 600 といったものが考えられる。

6 コンパイル

この章の説明は、C 言語版の read.cgi を用いない場合は関係ないため、読み飛ばしても問題ない。C 言語版を利用する場合は、外部から compile.cgi にアクセスすることで、内部で gcc が呼び出され read.c がコンパイルされる。その成果として、read.cgi が生成される。次に、サーバー上から read.c と compile.cgi を削除する。read.cgi に実行権が与えられていない場合は、パーミッション設定を行う。例えば 755 といったパーミッションを与える。なお、Windows サーバーで利用する場合のために、あらかじめ Windows 環境でコンパイルした read.exe を binary のディレクトリに置いているので、Windows サーバーを用いる場合は、それを用いてもよいだろう。ただし拡張子は.cgiに変更し、.cgi でアクセスした場合にバイナリ形式の実行が許可されているか注意が必要である。

7 掲示板の作成

admin.cgi にアクセスする。そこから「新規掲示板の作成」を選択し、はじめに設定した管理者パスワードを入力すれば、管理者画面から掲示板の作成を行うことができる。

8 注意事項

使用方法に関してはこれ以上は説明を行わないので、各自で使い方を発見してもらいたい。なお、このシステムは安全性などが保障されていないので、設置・使用の場合は、必ず各自の責任と判断の下で利用を行うこと。このシステムを利用する場合は、このシステムによって生じた如何なる損害に関して配布元は責任を取らないことに同意すること。